原油ETF証拠金取引
WEEKLY REPORT
2025/06/02号

マーケットエッジ株式会社 小菅努

【現状確認】

（出所）LSEGよりマーケットエッジ作成

OPECプラス増産観測で一時60ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル台前半でやや上値の重い展開になった。石油輸出国機構（OPEC）プラス8ヵ国の7月減産縮小（＝増産）を織り込む動きが優勢になり、一時60ドルを割り込む場面も見られた。5月と6月は日量41万1,000バレルの減産縮小が合意されたが、7月についても同規模の減産縮小が行われるとの見方が優勢だった。5月30日には減産縮小規模を拡大するとの複数の報道もあり、5月8日以来の安値を更新した。OPECプラスは28日に閣僚級会合を開催したが、2026年にかけて協調減産体制を維持する方針を確認したことはポジティブ。通商環境の評価は大きく揺れ動いたが、原油相場に対する影響は限定された。

OPECプラス8ヵ国は、当初6月1日に予定されていた協議を5月31日に前倒しで行い、7月に日量41万1,000バレルの減産縮小を合意した。カザフスタンが減産合意の履行を拒否しているため、サウジアラビアなどが減産縮小加速を主導するとの見方もあったが、5月と6月と同ペースの減産縮小が合意された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月23日時点）は、原油が前週比280万バレル減、ガソリンが244万バレル減、石油精製品が42万バレル減となった。

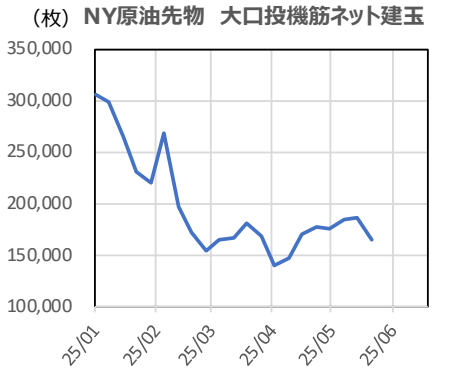
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【展望】

需給緩和見通しが維持される、米中経済指標にも注目

需給緩和見通しからじり安の展開が続きやすい。5月31日に石油輸出国機構（OPEC）プラスが合意した減産縮小幅は日量41万1,000バレルとなり、事前により大規模な動きも一部織り込まれていたため、週明け直後はショートカバー（買い戻し）が膨らむ可能性がある。しかし、いずれにしても3ヵ月連続で大規模な供給増が進む見通しに変化は見られず、改めて原油相場を大きく押し上げるのは難しい状況が続く見通し。需給緩和見通しから、60ドル割れの攻防が続く可能性が高い。

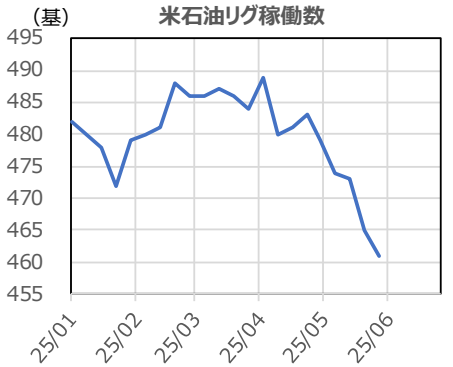


（出所）CFTCよりマーケットエッジ作成

通商環境は先行き不透明感の強さが目立つ。米国際貿易裁判所は、トランプ米政権の高関税政策の大部分について憲法違反として差し止め判断を下したが、その後は連邦高裁がその差止判断を停止させるなど、混乱状態が続いている。ただし、いずれにしてもトランプ政権の高関税政策に大きな変化は生じないとの見方はネガティブ。月初のため米中経済指標の発表が集中するため、景気リスクの織り込みがみられた際にも、下値不安が強まる。ドライブシーズンで季節的な需要拡大期待もあるが、影響は限定されよう。

（出所）EIAよりマーケットエッジ作成

米石油リグ稼働数が減少傾向を強めていることはポジティブ。過去5週で22基減の461基となっている。生産性の向上が進んでいるため、直ちに大規模な減産が想定される訳ではないが、少なくとも増産規模の縮小圧力が強まりやすい環境はネガティブ。



（出所）Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

一方、上昇リスクはイラン情勢が引き続き注目される。米国とイランの核協議は難航しながらも継続中だが、イスラエルがイラン核施設を攻撃するとの観測もあり、突発的な上昇リスクとして注意は必要。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社 （Marketedge Co., Ltd.）
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-18-1（古川ビル4Ｆ）
【URL】 https://www.marketedge.co.jp/
【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.